

QUACKWORKS

ウェブサイトでは、水貼りの方法や剥し方も紹介していますので、あわせてご覧ください。

<https://www.quackworks.jp/stick-on.html>



貼り方（ドライ） ※水貼りの方法は弊社ウェブサイトをご覧ください。

1 準備



スキージー



マスキングテープ

スキージーとはヘラの様なもので、定規にタオルをあてがったものでも代用できます。

また施工面の油脂や埃は、事前にきれいに拭き取っておいてください。ゴミが残っていると剥がれの原因などに繋がりますのでご注意ください。

2 転写シートとカッティングステッカーを圧着します



まずはカッティングステッカーと転写シートを、しっかりこすって圧着しましょう。

ウラ面（方眼紙状になっている面）からもこすって圧着します。しっかり圧着していないと、台紙（剥離紙）側にカッティングステッカーが残ってしまいます。

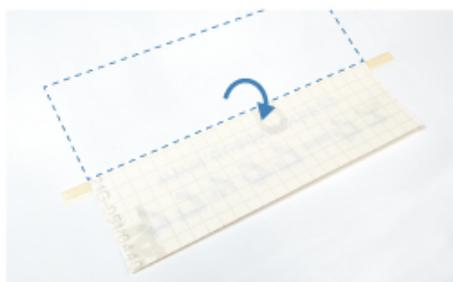
3 貼る位置を決めて、下辺をテープで仮止めします



カッティングシートを貼る位置を決定し、下辺をマスキングテープで固定します。

壁面などに貼る場合、下辺だけだと垂れ下がってしまいますので、上辺にも仮止めでテープを貼ってもかまいません。

4 下辺のテープを軸に裏返します



下辺の固定用テープが剥がれないよう注意しながら、カッティングステッカーを裏返します。

上辺にもテープを貼った場合は、この時点で上辺のみテープを剥がしてください。

5 シートを裏返して、台紙を剥がします



シートを台紙から剥がし転写シートに貼り付けます。

勢い良く剥がすと切れたりすることがありますので、必ずゆっくりと剥がしてください。

6 スキージーを使用して貼り付けます



シートがヨシないように気をつけながら、スキージーでゆっくり圧着しながら貼ってください。

この時点ではしっかり圧着しないで大丈夫ですので、シワにならないようにだけ気をつけてください。力を入れ過ぎると、転写シートが破れたりすることがありますのでご注意ください。

7 転写シートを剥がす前に圧着します



空気が抜けるようにスキージーで中央から放射状に圧着してください。この時一気に力を入れて擦るとシワがいたりしますので、力を抜いて軽く滑らせて全体的にシワ無く圧着できたら、仕上げにもう一度少し力を入れてしっかり圧着してください。

i 転写シートに貼りつかない



しっかりと圧着してから、転写シートに台紙を押さえつけながら剥がすと、転写シート側に貼り付き易くなります。またシートカラーや製造ロットによって、若干の剥がれやすさの違いが見受けられますが、製造時の個体差と考えられます。耐候性には問題はありませんので、予めご了承ください。

i 空気が入ってしまった場合



小さい気泡なら時間経過で自然に抜けていきます。どうしても空気が抜けない場合は転写シートを剥がしてから、空気の入った部分を細い針などで突いて空気を抜きます。穴はあまり目立たないので空気が入っても焦らず作業を進めてください。

8 転写シートとマスキングテープをゆっくり剥がします



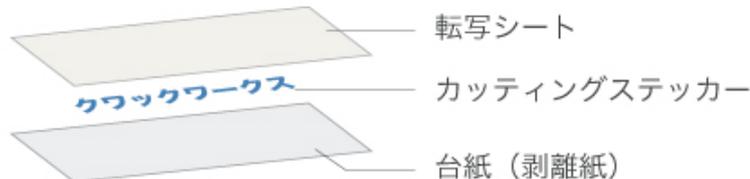
しっかりと圧着できたら、転写シートとマスキングテープを剥がします。勢い良く剥がすと、上手く貼れていない部分が切れたりする恐れがありますので、必ずしっかりと貼れているかどうか確認しながらゆっくり剥がしてください。

i 上手く貼るコツ



小分けにすると貼りやすくなります。大きいサイズの場合は小分けにすることによって、施工時に空気が入りにくくなりミスが減ります。テープから剥がれないように注意してください。

i カットिंगステッカーの構造



★上記写真の例では比較的小さなシートでしたので、中央から貼付けましたが、細長い長い物や大きいデザインの場合は端から徐々に貼るなどしてください。

★高温多湿で長期間保存しておきますと、転写シートの粘着力が増し、カットングシートから剥がれにくくなる場合があります。

★転写シートは温度や湿度に影響されやすく、季節によって性質が異なる場合があります。

★貼り方はあくまで一例です。デザインによって適切な方法で作業を進めてください。

9 完成



これで完成です。お疲れ様でした。